

日本人の長寿を支える「健康な食事」の認証について

1. 「健康な食事」の認証の基本的考え方

- ・「健康な食事」を社会に広く周知を図る一つ的手段として、「健康な食事」のとらえ方をもとに、一定の基準を満たす食事を「健康な食事」として認証し、販売する際に認証マークを表示できるものとする。
- ・これにより、
 - ▷ 国民は、どのような食事が「健康な食事」かを、日々の暮らしの中で知ることができ、一定の質が担保された「健康な食事」を容易に選択できる
 - ▷ 事業者は、「健康な食事」の認証を得ることで、自社商品を訴求できる

2. 認証の方法（案）

- ・コンビニエンスストア、スーパーマーケット、宅配等で販売される総菜等の調理済み食品を対象とする。
- ・なお、外食については、平成2年に「外食料理の栄養成分表示ガイドライン」を取りまとめ、その普及を図ってきたところである。（健康日本21（第二次）：飲食店登録数17,284店舗（平成24年））
- ・「健康な食事」の認証の基準については、日本の食文化の良さを引き継ぎ、栄養学的に望ましい量や内容とする。（資料3参照）
- ・認証については、一定の基準を満たしていることが一目でわかることが重要となるため、「マーク」で示すこととし、そのマークについては公募を行い、その中から本検討会で決定することとする。また、マークについては、基準に合致していれば任意で表示できる仕組みを想定している。